

お願い

この説明書は実際にご使用になられる方のお手元にも必ず届くようお取り計らいください。

粉塵防爆形ベルト片寄り検出器

LYBA－取扱説明書

このたび坂本電機製粉塵防爆形ベルト片寄り検出器をご採用いただきありがとうございます。
この説明書は、ベルト片寄り検出器の取扱い、保守について述べたものですから、ご使用前にご熟読の上、
据えつけ、保守、点検などに正しくご活用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

(株)坂本電機製作所

本社・和白工場 〒811-0202 福岡市東区和白3丁目27-55
TEL:(092)606-2731 FAX:(092)608-1984

津屋崎工場・器具営業 〒811-3304 福津市津屋崎7丁目23-40
TEL:(0940)72-4193 FAX:(0940)72-4197

大阪営業所 〒536-0022 大阪市城東区永田4丁目15-24
TEL:(06)6961-0084 FAX:(06)6961-0085

1、ご購入時の点検について

ご注文通りの製品が届きましたか。輸送中の振動、事故等で破損していないかご確認ください。

- (1) 輸送中に破損したところはないか。
外装、入力軸、ねじ部等が曲がっているところはないか。
- (2) ご注文通りの製品かどうか、銘板でご確認ください。
形式、定格、等がご注文通りかをご確認ください。
万一、不具合なところがありましたならご注文先にご連絡ください。

2、ご使用される周囲環境について

本機器は下記の周囲環境条件でご使用になれます。(特にご指定のある機器については、納入時の最終仕様図に記載されています。)

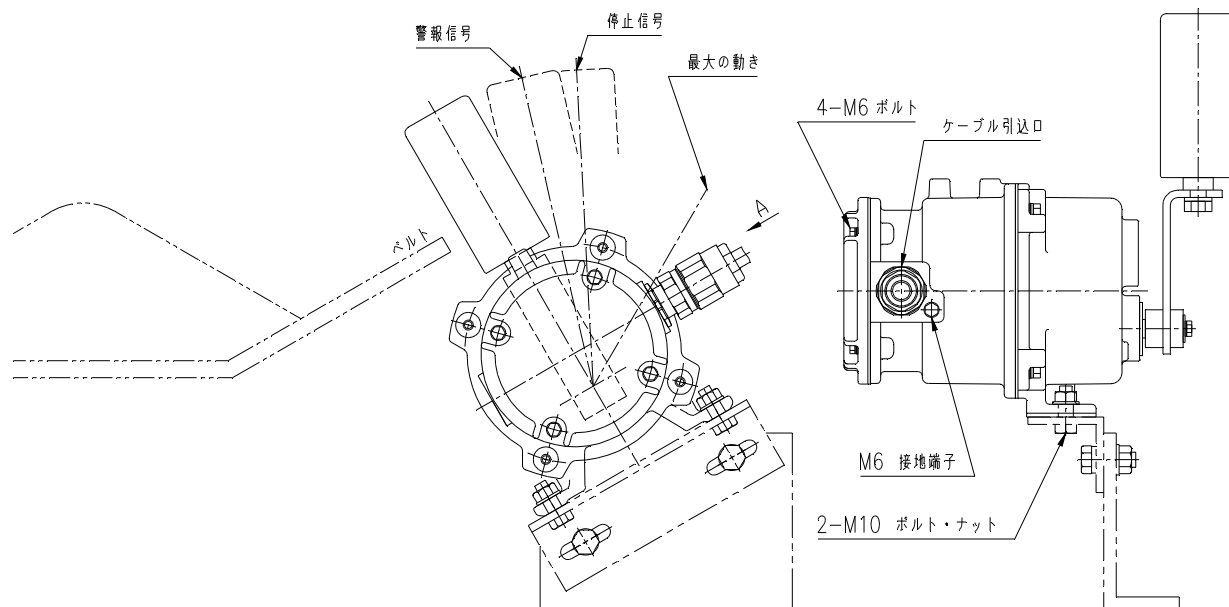
- (1) 温度 : -10°C ~ $+50^{\circ}\text{C}$ 、但し氷結がないこと。
- (2) 相対湿度 : 95%以下、但し結露がないこと。
- (3) 腐食性雰囲気のある場所ではご使用になれません。
- (4) モータや減速機などのそばでご使用になっても問題はありますが、振動板や振動フィーダなどのような、強い振動が発生する機械のそばでは誤動作の可能性があります。
- (5) 同様に強い機械的衝撃が発生する場所でも誤動作の可能性がありますので、ご注意ください。
- (6) LYBA形ベルト片寄り検出器は、石炭、穀物、樹脂などの可燃性粉塵が存在する場所で使用することが出来ます。

3、据付けについて

もし据付けが悪いと、誤動作や本機器の故障を招く場合があります。下記にご留意ください。

- (1) 強固で平坦な面に取付けてください。
- (2) 取付ねじは2本のM10ボルト(供給外)で締め付けて回り止めを施してください。
- (3) 据付け場所が浸水や塵埃の浸入の恐れがある場合、据付け途中若しくは以前に放置することは避けてください。正常な取付け状態及びケーブル引込み状態で保護構造機能が有効です。
- (4) タッチプーリーがコンベアベルトのエッジに対して5~20mm程度の隙間もたせて据付けて下さい。
- (5) 設置場所は駆動、ダミープーリーの近くの両サイドに据付けるのが、一般的です。
- (6) 本機器の外装接合部は全てパッキンにて防塵性を保持しております。不要な分解は避けてください。また、外線を接続する場合は産業安全研究技術指針 RIIS-TR-82-1 に準じて工事を行う必要があります。

図 3-1 据付例図



4、配線について

- (1) カバーを外しケース内の端子台に外線を接続します。端子(M4)への接続は絶縁スリーブ付き圧着端子を使用するか、裸圧着端子をご使用の場合は圧着部を絶縁チューブで保護してください。
- (2) 屋外に設置される場合、呼吸作用による浸水を防止するために、ケーブル引出口のねじ結合部やケーブル穴等のくぼみをコーキングすることをお勧めします。
- (3) 配線工事は上記2-(6)の技術指針について熟知された方の管理下で実施して下さい。

5. 保守点検について

(1) 点検時期

使用頻度、使用条件、環境により点検時期は左右されますが、少なくとも1ヶ月毎に点検してください。

(2) 点検内容

点検項目	処置方法	備考
外観の傷、凹み、曲がりの有無	使用可か否かを判定し、不可か判定不能なら現品交換してください。	
タッチローラの損傷の有無	使用可か否かを判定し、不可か判定不能なら現品交換してください。	
塗装のはげ、錆の有無	損傷が軽ければ錆除去後補修塗装し、判定が困難なら現品交換してください。	
内部点検で浸水の有無	浸水跡が在る場合、現品交換してください。軽傷なら乾燥させ、浸水原因を調べ除去してください。	
パッキン類の損傷・劣化の有無	少しでも損傷があれば部品交換してください。	
取付ねじ、連結部ねじ等の緩み	増し締め、緩み止め(固着剤)をしてください。	
引込みケーブルの損傷	損傷がある場合、再配線して下さい。	
絶縁抵抗	電源端子と非充電金属部 500Vメガにて測定してください。外部電線路を外し10MΩ以下なら交換か結露の有無を点検してください。	
動作試験	試運転での動作確認してください。	
その他の使用者決定事項		

完了時、点検箇所を再確認しカバーを取り付けてください。

付図1. 構造図

No.	品名	備考(手配コード)
1	ケース	
2	端子箱	
3	カバー	
4	パッキン	
5	パッキン	
6	レバークミ	
7	ローラクミ	
8	オイルシール	TC15X32X9
9	玉軸受	
10	ネジリバネ	

No.	品名	備考(手配コード)
11	カム	
12	端子台	
13	4穴パッキン	
14	マイクロスイッチ	
15	絶縁紙	
16	盲栓	
17	ケーブルグランド	
18		
19		
20		

